

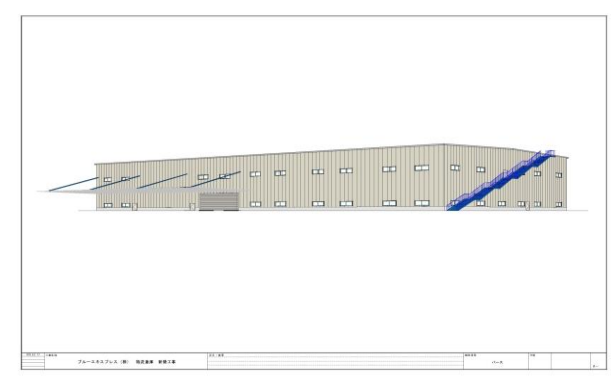
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブルーエクスプレス(株)物流倉庫 新	階数	地上2F
建設地	堺市堺区大浜西町10、19-5、19-6	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	4人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年9月24日
敷地面積	24,101 m <sup>2</sup>	作成者	(株)ティーディーシー
建築面積	2,069 m <sup>2</sup>	確認日	2014年9月30日
延床面積	3,867 m <sup>2</sup>	確認者	嶋田建築事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	今回の計画は、広範囲の敷地のなかの倉庫棟であり、各棟は棟間隔を十分とっており、周囲に圧迫感を与えず、また、敷地内を風が通り抜ける計画としている。 今回の計画建物は、空調・換気・衛生設備を設けないため、EILKの観点から見ると環境負荷の小さな建物となっている。	<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	※工場用途(倉庫)のみとなるため対象外	<b>Q2 サービス性能</b> 更新が必要となる設備は電気設備のみとなるが、すべて20年以上の耐用年数となっている。 また、仕上げがなく、配線現しとなるため、更新が容易である。
<b>LR1 エネルギー</b>	高効率の照明器具を使用しており、消費エネルギー量を抑えている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 仕上がなく、配線現しのため、解体時に躯体と配線の取り外しが容易であり、リサイクル性が高い。 断熱材には非発砲剤のスーパーフェルトンを使用しており、環境負荷が低くなっている。
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地の造成は行わず、周辺環境になじむよう配慮し、また敷地内の棟間隔を十分とることで、周囲への圧迫を軽減している。 また、道路から見える駐車場部分は緑化を図っている。
		<b>LR3 敷地外環境</b> 棟間隔を十分取っており、敷地内を風が通り抜ける配置計画となっている。 取り扱う商品は、パレットやコンテナに収納されて出・入荷することで、ダンボールなどの廃棄物の発生を抑えて、ゴミの減量化が図られている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	ブルーエクスプレス(株)物流倉庫 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区大浜西町10番、19番5、19番6	1.2	B+
	主用途/延床面積	工場 / 3,866.97 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	3	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.8	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	